

[講演会のお知らせ]

「坂の上の雲」のどこが問題なのか？ ～史実の偽造を拡散させるNHKの社会的責任～

日時：2010年5月30日(日)PM1:30～3:30

場所：志津コミュニティセンター 2F 大会議室

(ユウカリが丘駅北口、モノレール公園駅下車2分)

講演者：醍醐 聡

資料代：300円



I. 史実を改ざん・黙殺した原作の誤りを公共の電波で拡散させるNHKの責任

- (1) 日清・日露戦争は日本にとって「受け身の」「祖国防衛戦争」だったのか？
- (2) 伊藤博文は開戦回避・朝鮮の独立に尽力した平和主義者だったのか？
- (3) 日本は国際法を守って日清・日露戦争をフェアに戦ったのか？
- (4) 正岡子規は日清・日露戦争の時代に明るい青春を謳歌したのか？
「なき人の むくろを隠せ 春の花」(子規の従軍日記より)

II. 司馬遼太郎の遺志に背いて原作のドラマ化を推進したNHKの責任

- (1) 司馬遼太郎は原作のドラマ化を拒んでいた。
- (2) 後年、司馬の朝鮮観は大きく揺らいでいた。

講演者紹介



醍醐 聡

「坂の上の雲」放送を考える全国ネットワーク呼びかけ人
NHKを監視・激励する視聴者コミュニティ共同代表
元東京大学大学院経済学研究科教授
(2010年3月退職)
佐倉市宮ノ台在住

主催：『さくら・志津憲法9条をまもりたい会』

連絡先：(Tel&Fax) 043-487-1350 (中河)

043-488-0537 (前田)

* とくに連絡は不要です。ご自由に、ご参加ください。